



ポータブル蓄電機を活用したホームエコシステム

HOME
eco system



電気代を削減する

ホームエコシステム

ホームエコシステム導入で

電気代を削減

年間
1/3 削減を目指す

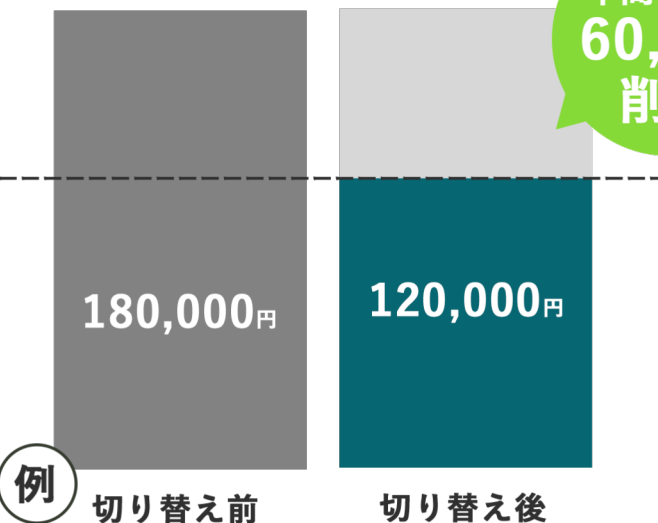
年間
60,000円
削減

問題

高騰し続ける電気代

2020年以降、値上げが続く電気料金。2023年以降も燃料費の高騰が続き、大手電力会社は、値上げ幅を28%~45%を検討するなど、今後も電気料金の値上がりが予想されています。

電気代高騰に備え、対策は\\急務//



例

切り替え前

切り替え後



電気代削減のしくみ ①

電気の基本料金の決定方法とは？

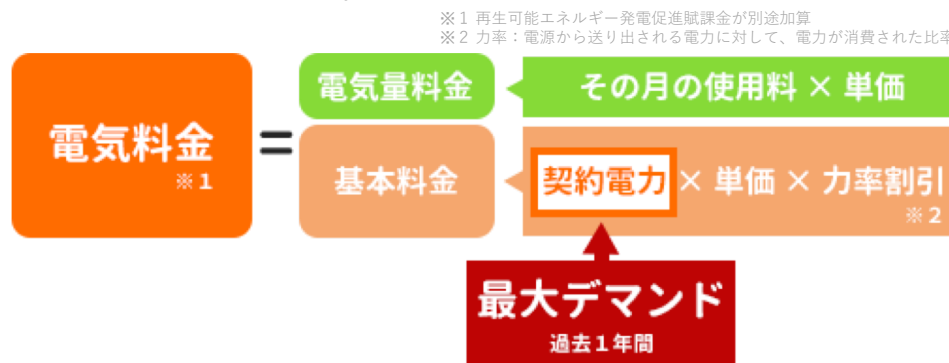
電気料金は「電力量料金」と「基本料金」によって構成されています。

電力量料金

その月の使用量によって算出

基本料金

「契約電力」によって算出



「契約電力」はどう来まる？

「基本料金」の中でも「契約電力」は過去1年間の「最大デマンド」に基づいています。

「単価」は電力会社の契約プランによるものなので、「その月の使用料」そのものを下げる以外では、

最大デマンド が基本料金を決定し
電気料金を下げる \ 重要ポイント / になります

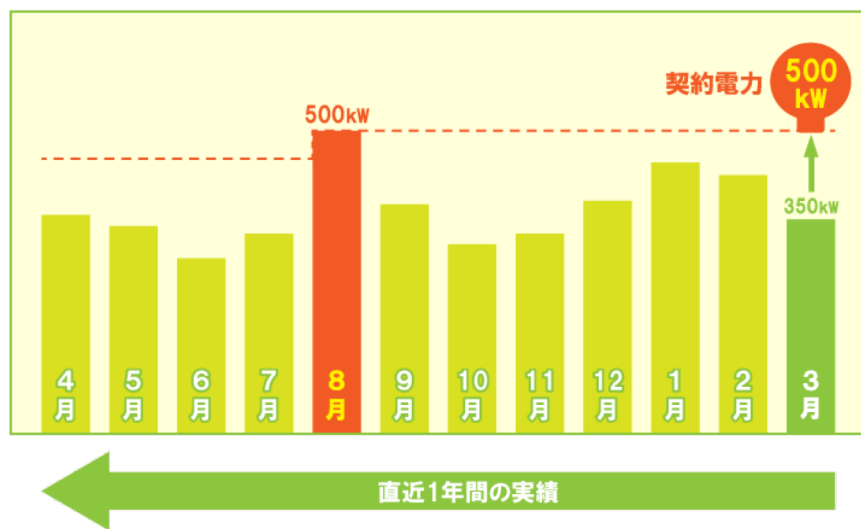


電気代削減のしくみ ②

電気料金を抑えるポイント！ 最大デマンドとは？

最大デマンドとは「直近1年間で最も電気を使用した時間の電気使用量」のことです。

この最大デマンドの数値がその後1年間にわたっての契約電力となります。



8月に最も電気を使用した時間帯があり
「最大デマンドは500kW」。

3月の電気料金を決定する際、最大電気使用量は
350kWであるが、契約電力は直近1年間の最大デ
マンドであるため「基本料金は500kW」で算出。

基本料金は直近1年間で最も電気を使用した時間
帯の電気使用量 = 最大デマンド によって決まる。

重要

たった1時間の買電量が、年間の基本料金に影響する

電気を使いすぎたことにより 最大デマンド が上がってしまうと、その後一年間は、電気の基本料金は下がりにません。電気をあまり使っていない月でも、高い電気料金を支払うことになってしまいます。



電気代削減のしくみ③

パチンコエコシステムは 電気代の基本料金を下げる施策

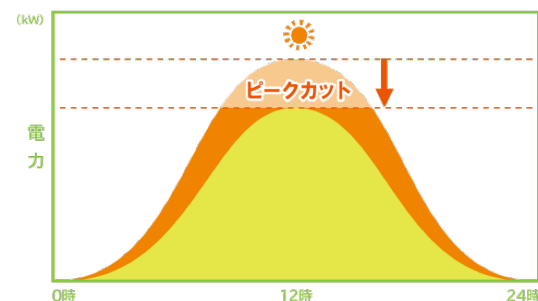
ピークカット・ピークシフトで効率的に電気代を削減します

電気の最大使用量を抑えることができれば最大デマンドが下がりますので、年間を通しての基本料金を下げることが可能になります。この基本料金を下げる施策が、ピークカットやピークシフトです。

ピークカット

最も使用電力の多い時間帯の電力の使用量を削減すること

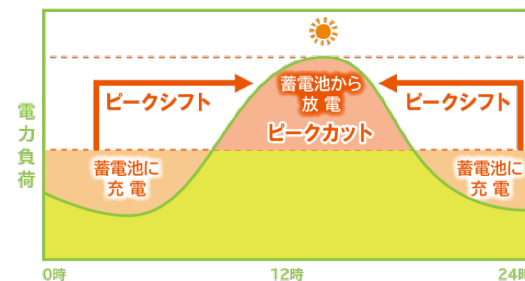
ピーク時における電力の使用量をカットします。ピークカットにより、単価が高い時間帯の電気料金を抑えることができますし、最大デマンドを下げ、電気の基本料金の削減にもつながります。



ピークシフト

電力の使用が少ない時間帯に電気を貯めておき、多く使用する時間帯に使うこと

電気使用量の少ない夜間や早朝に、蓄電池などに電気を蓄えておき、その蓄えた電気を昼間に放電して使用します。そうすることによってピークカットと同じ効果が得られるため、最大デマンドが下がり、電気の基本料金を削減することができます。



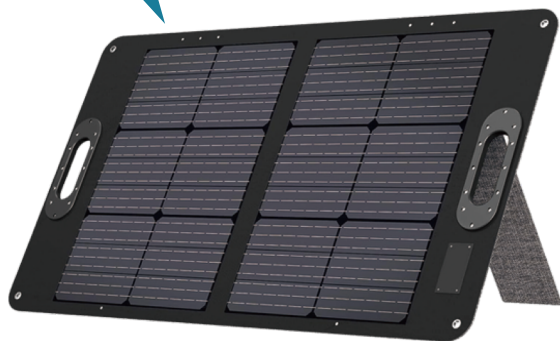


ホームエコシステムの エコラインナップ

パワコン
工事費不要！

持ち運び
可能！

災害時や
アウトドアにも



①小型太陽光パネル



②ポータブル蓄電池



③節電グッズ

充電式乾電池 | スマートプラグ | スイッチポッド

エコラインナップで
効率的に電気代を削減



ホームエコシステムのエコラインナップ

ポータブル蓄電池

電気代の安い**夜間電力を蓄電。**

最も電気を使用している時間帯で、蓄電した電気を活用。



特徴



操作は自動でおまかせ。

夜間電気を自動で止めたり、朝は自動で蓄電器から電気が流れる等、自動切り替えが可能。



ホームエコシステムのエコラインナップ

小型太陽光パネル

場所を取らない小型太陽光パネルで蓄電。

太陽光パネル設置に通常必要な、**工事費・パワコン不要**



① 太陽光パネルで蓄電



② 蓄電した電力を効率よく使用



ピークカット
ピークシフト

特徴



工事費不要・パワコン不要

特別に広い場所がなくても、外の空いているスペースに配置できる便利な小型サイズ。

通常太陽光パネル設置に必要な、工事費も、パワコン（パワーコンディショナー）も不要。



ホームエコシステム

3つのメリット

蓄電池・太陽光パネルの導入は、電気代削減だけではない

3つの課題を解決するメリットがあります

課題

電気代の急激な高騰

課題

自然災害への備え

課題

CO2削減への対策

メリット1

電気料金を削減します

メリット2

非常用電源になります

メリット3

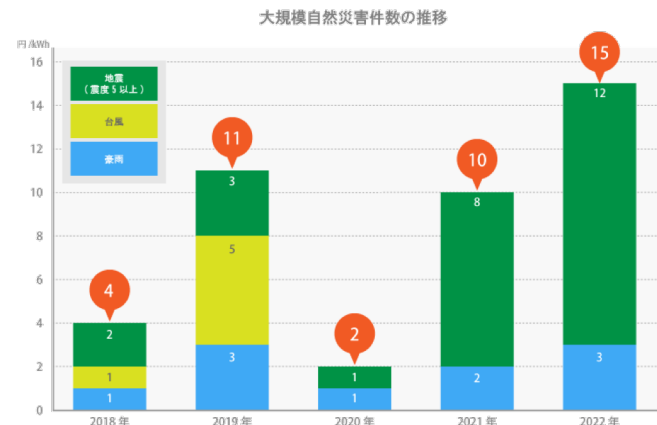
CO2削減します



災害時の非常用電源

非常用電源として活用

ホームエコシステムのメリットの一つは「災害時の非常用電源になる」という点です。近年は、大きな自然災害が頻発しており、南海トラフ地震のリスクも高まっていることから、自然災害への対策も重要視しなければならない問題になっています。



持ち運びが、できる。

非常用電源にも様々なものがありますが、最も有名なものが太陽光発電です。しかしながら高額な初期設備投資の費用の課題や、工事が必要になるデメリットが。ホームエコシステムの小型太陽光パネル・蓄電池は持ち運びができるサイズで工事は一切不要。すぐに使用開始でき、災害時でも非常用電源として活躍。停電対策にも役立ちます。また、アウトドアでも活躍するポータブルサイズです。



電気使用による「CO2」も削減へ

電気使用の削減と、自家発電でCO2削減へ

「2050年カーボンニュートラル宣言」により、2050年までに国内のCO2排出量を「実質ゼロ」とするこの目標に対して、2021年には改正温対法において、実際に法に位置づけられるようにもなりました。

こうした背景もあり、大手企業を中心にCO2削減への動きが加速。更に大手企業が取引先などにも削減を求める流れも生まれています。



ホームエコシステムは**電気使用を削減し**
自家発電の活用でCO2を削減します



ホームエコシステムのエコラインナップ

充電式乾電池・スマートプラグ

便利に。そして細やかな節電対策が叶うアイテム。

スマートプラグ



家電をスマホやパソコンなどのデバイスで遠隔やタイマー操作ができるようになる電源プラグ

特徴

- ✓ 電気のON,OFFも操作可能！
- ✓ 電気の消し忘れのチェックができる
- ✓ 外出先から、加湿器・エアコン等も操作可能！

充電式乾電池



充電して、繰り返し使える乾電池

特徴

- ✓ 蓄電池からの充電で、電気代0円でさらにコスパ良！
- ✓ 急な入用でも、充電するだけで使用可能！
- ✓ 使い捨てにならないため、エコアイテム！

スイッチボット



家中のリモコンを一つにまとめ、スマホでコントロール可能。

特徴

- ✓ 家にあるたくさんのリモコンをスマホで一元管理
- ✓ 外出先からもスマホで遠隔操作が可能
- ✓ 無駄な電気をこまめに管理して電気代削減へ